

CentreNET® AT-TCP/32 Professional Ver.2.1

Installation Guide



PN: J613-M4443-01 Rev.A

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社(アライドテレシス株式会社)が保有しています。当社の同意な
 く本書の全体もしくは一部をコピーまたは転載しないでください。
- 当社は、予告なく本書の全体もしくは一部を修正または改訂することがあります。あらかじめご了 承ください。
- 当社は、改良のため予告なく製品の仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますので あらかじめご了承ください。

著作権表示

- Copyright © 1996, 1997, 2000 アライドテレシス株式会社
- Copyright © 1996 Orangesoft, Inc.

商標について

- CentreNET、CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporationの米国その他の国における登録商標です。
- UNIX は、X/Open カンパニーリミテッドがライセンスする米国ならびに他の国における登録商標です。
- PC-9800 は、日本電気株式会社の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、製品名等は、各社の商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

• 2000年9月初版

目次

ご注意	盖	ii
著作样	崔表示	ii
商標は	こついて	ii
マニ:	ュアルバージョン	ii
第1章	概要	1
1.1	収録アプリケーション	1
1.2	動作環境	3
第2章	インストール	5
2.1	インストールの前に	5
2.2	インストール手順....................................	6
第3章	アンインストール	13
3.1	Windows 95/98/NT 4.0/2000 をお使いの場合	13
3.2	Windows NT 3.51 をお使いの場合	13
第4章	「PGP 国際版 2.6.3i」について	15
4.1	PGP のバージョン	15
4.2	注意事項....................................	15
4.3	ダウンロード	16
4.4	インストール	16
4.5	PGP とは	16
付録 A	TCP/IP の基本設定	19
A.1	はじめに....................................	19

A.2	Windows 95/98 の場合	20
A.3	Windows 2000 の場合	23
A.4	Windows NT 4.0 の場合	27
A.5	Windows NT 3.51 の場合	30
A.6	hosts ファイル	34

第1章

概要

このたびは、CentreNET AT-TCP/32 Professional (以下、AT-TCP/32)をお買い上げいただきまして 誠にありがとうございます。AT-TCP/32 は、Windows95/98/NT 3.51/NT 4.0/2000 対応の 32 ビッ ト TCP/IP アプリケーションパッケージです。AT-TCP/32 を使用することにより、UNIX システムと Windows システムが混在するネットワークを容易に構築することができます。

本 Installation Guide では、AT-TCP/32 のインストール方法や TCP/IP の基本設定などについて説明しています。インストールの前に必ずご一読ください。また、CD-ROM 内の Readme ファイルもあわせて ご一読くださいますようお願い申し上げます。

1.1 収録アプリケーション

AT-TCP/32には、次の TCP/IP アプリケーションが含まれています。

電子メール (ATMail)

SMTP/POP3 対応の電子メールクライアント (メーラー)。公開鍵方式の暗号プログラム PGP 2.6.3i への GUI フロントエンドを持ち、暗号化メールの送受信が可能です。

▲ ホパッケージには、PGP プログラムは含まれておりません。詳細は15ページの「4 「PGP 国際版
 2.6.3i」について」をご覧ください。

ネットニュースリーダ

NNTP 対応のネットワークニュースリーダ。ニュースグループやスレッドのツリー表示をはじめ、 未読記事の管理や検索、メーラーや Web ブラウザとの連携など多才な機能を持ちます。

Ping ユーティリティ

GUI ベースの ping/traceroute ユーティリティ。簡単な操作で TCP/IP ネットワークの診断が行 えます。

VT 端末エミュレータ

telnet/rlogin に対応した VT282 相当の端末エミュレータ。各種漢字コードへの対応、オートログイン、キーマップの変更、XMODEM/BPLUS によるファイル転送などの機能を備えています。

FTP クライアント

GUI ベースの FTP クライアント。ドラッグアンドドロップによるディレクトリの一括コピーをは じめ、Proxy サーバへの対応やマクロプロセッサによる FTP コマンドの一括実行などの機能を持 ちます。

FTP サーバ

Windows 用の FTP サーバ。ホスト単位およびユーザ単位でのアクセス制御が可能です。

リモートコマンド

Windows 用の rcp/rsh フロントエンド。リモートホスト上で任意のコマンドを実行させる遠隔コ マンド実行機能(rsh)と、ローカル/リモートを意識せずにファイルのコピー(転送)を行える rcp コマンドを GUI で操作できます。

TFTP クライアント

Windows 用の TFTP クライアント。

TFTP サーバ

Windows 用の TFTP サーバ。インテリジェントなネットワーク機器との間でソフトウェア等を転送する場合に便利です。

リモートプリント

Windows 用の lpr クライアント。lpd サーバ経由でネットワークプリンタに出力できます。

プリンタサーバ

Windows 用の lpd サーバ。lpr クライアントの要求を受けてプリントジョブを管理します。

Finger クライアント

リモートホストのユーザ情報やログイン情報を取得することができます。

Finger サーバ

Windows 用の Finger サーバ。

Whois クライアント

ネットワーク上の各種組織や団体のデータベースを検索することができます。

時刻設定ユーティリティ

ネットワーク上のタイムサーバと PC の時計を同期させるためのユーティリティです。

ダイヤルアップコネクター

ダイヤルアップ IP 接続を容易に行うためのフロントエンドソフトウェア。複数プロバイダの登録 や自動接続、巡回接続など便利な機能を搭載しています。

1.2 動作環境

AT-TCP/32の動作環境を以下に示します。

1.2.1 対応コンピュータ機種

AT-TCP/32は、以下のコンピュータ機種に対応しています。

- OADG 準拠 AT 互換機 (DOS/V)
- NEC PC-98 シリーズまたは 98 互換機
- NEC PC98-NX シリーズ

1.2.2 対応オペレーティングシステム

AT-TCP/32 は、以下の日本語版オペレーティングシステム (OS) に対応しています。

- Microsoft Windows 95
- Microsoft Windows 98
- Microsoft Windows NT 3.51/4.0
- Microsoft Windows 2000

▼ 英語版 OS には対応しておりません。また、Windows NT は、Intel x86 版のみの対応となります。

1.2.3 コンピュータ資源

AT-TCP/32は、以下のコンピュータ資源を必要とします。

- CPU: i486SX 以上(使用する OS の要件に依存します)
- メモリ: Windows 95/98 では 16MB 以上、Windows NT/2000 では 64MB 以上を推奨
- ディスク容量:標準構成で18MB以上
- CD-ROM ドライブ

第2章

インストール

AT-TCP/32のインストール手順について説明します。

ここでは、インストール対象のコンピュータとして、Windows 95 を搭載した AT 互換機を想定していま す。また、起動ドライブを「C:」、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定しています。

ドライブ名などを各自の環境に応じて読みかえてください。

2.1 インストールの前に

AT-TCP/32のインストールを始める前に、以下の各項目について確認してください。

必要動作環境の再確認

AT-TCP/32 をインストールしようとしているコンピュータが、必要動作環境の要件を満たしてい るかどうか、3ページ の「1.2 動作環境」 でもう一度お確かめください。

ネットワークアダプター

AT-TCP/32 をインストールしようとしているコンピュータに、ネットワークアダプター (LAN ア ダプター) およびそのドライバーが正しくインストールされていることをご確認ください。

なお、LAN を使用せず、ダイヤルアップ IP 接続環境でのみ AT-TCP/32 をご使用になる場合は、 LAN アダプターは必要ありません。その場合は、モデムや TA とそのドライバ、および、「ダイヤ ルアップアダプタ」がインストールされていることをご確認ください。

TCP/IP プロトコルスタック

AT-TCP/32 を使用するには、TCP/IP プロトコルスタックが必要です。TCP/IP プロトコルがイ ンストールされていないと、インストール中に警告メッセージが表示されます(インストール自体 は行うことができます)ので、19ページの「付録A TCP/IP の設定」などを参考にして、あらか じめインストールの確認と必要な設定をすませておいてください。

2.2 インストール手順

1. コンピュータの電源を入れ、Windows を起動します。

♥ Windows NT または Windows 2000 をご使用の場合は、「Administrator」権限でログオンしてください。

- 2. CD-ROM ドライブに CentreNET AT-TCP/32 Professional の CD-ROM をセットします。
- 3. 「自動実行ユーティリティ」が起動します。「AT-TCP/32 Professional のインストール」をクリッ クしてください。



自動実行ユーティリティ

▶ Windows NT 3.51 をご使用の場合や、CD-ROM ドライブの設定で自動実行をオフにしている 場合は、「プログラムマネージャ」または「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」で、 「D:¥SETUP.EXE」を実行してください(CD ドライブが「D:」の場合)。

4. 「次へ」をクリックします。



セットアップ開始

▼ TCP/IP がインストールされていないと、ここで次のような警告メッセージが表示されます。必ず TCP/IP をインストールしてから AT-TCP/32 をインストールしてください。



TCP/IP 未インストール

5. 使用権許諾契約書をよくお読みになり、同意されるなら「同意する」をクリックしてください。同 意できない場合は「同意しない」をクリックします。その場合、セットアップは中止となります。

АŦ	-TCP/32	2 Profes:	sional V7	トウェア使用	権許諾多	い書				×
	Ð	本ソフトウ みご使	ェアはお客 用になれ	「様が以下 はます。	の使用権	許諾書に	に同意して	いただ	いた場合に	:ற
	的客様) ない場合 いる封行 同意して	がこの傾 合は「同 う を開 新	用権許 意しない もしく 成立した	著契約書に 」を押し 打同意す とものとい	:同意され てくださ る」ボタ いたしまう	ιる場合 い。お客 ンをクリ た。	む同意す 「様がシリ リックされ	る」を、 アル番 た場合、	、同意でき 号の入って 、契約書に	
	契約書(シリア) 代金 構) ッケー:	の内容に し番号の も返される ジの契約	に同意でき の入ってい かしまう パッケー 月 目	きない場合 いる封筒を す。(複数 ージの1つ 意頂けたも	には、「 開封せる めのソフ」 のを開封し のとしま	同意した パッパッパ ・ウェア した時点 とす。)	れ) ボタ ケージを∂ 製品を1つ で、構成∂	ンをク ご返却く つにまと きれるす	リックし、 ださい。 めた製品 べてのバ	
				ソフト	ウェア使	用権許謀	契約書			
	アライ	ドテレシ	/ス株式会	≩社は、オ	「契約書と	: ೭ಕಿಟ	提供する、	ノフトウ	リェア製品	•
	残りの音	₿分をご	覧になる	ICIJ Pag	e Down :	またIは R	OLL UP ‡	-を押し	てください	۱.
					<	戻る(B)	同意す	<u>३५२</u>	同意しない	۱(N)

使用権許諾契約書

AT-TCP/32 Professional のシリアル番号と認証キーを入力して、「次へ」をクリックしてください。これらの番号は、パッケージに封入されている「シリアル番号/認証キーシール」に記載されています。

なお、「AT-TCP/32 Professional Ver.2.1 乗換えキット」をご購入のお客様は、お手持ちの AT-TCP/32 または AT-TCP/32 Light のシリアル番号と認証キーがそのままご使用になれますので、 そちらを入力してください。

シリアル番号/認証キー	
	AT-TCP/32 Professional の沙 ル番 号および認証+を入力 してください。
	沙邓番号(⑤): 1234 - 5678 - 9012
	認証牛-(点): 9876 - 5432 - 1098
	空欄の場合は、お試し版としてインストールします。
	< 戻る(B) 次へ(N) 入。 キャンセル

シリアル番号/認証キーの入力

7. セットアップタイプを選択します。通常は「フルインストール」を選択してください。

フルインストール

AT-TCP/32 の全コマンドをインストールします。通常はこれを選択してください。 コンパクトインストール

使用頻度の高い電子メール、Ftp クライアント、VT 端末エミュレータ、Ping ユーティリ ティ、リモートプリント、プリンタサーバのみをインストールします。

カスタムインストール

インストールするコマンドを任意に選択できます。

AT-TCP/32 Professional t	ットアップオブション	X
	もったっぴするタイプを選択してください。 1) フルインストール 2) コンパクトインストール 3) コンパクトインストール	
2	⊂ ม₩: 全てのコマンドをインストールします。	
	< 戻る® 次へ® キャンセ	V

セットアップタイプの選択

本製品のマニュアルは PDF 形式で提供されています。マニュアルをインストールする場合は「インストールする」を選択して、「次へ」をクリックしてください。マニュアルが不要な場合は「インストールしない」を選択して「次へ」をクリックします。



マニュアルのインストール

 セットアップタイプとして「フルインストール」あるいは「コンパクトインストール」を選択した 場合は、次の画面が表示されます。AT-TCP/32のインストール先ディレクトリを指定し、「次へ」 をクリックしてください。10ページの手順11に進みます。

インストール先の選択	×
	もットァッブlま次のフォルダlこ AT-TCP/32 Professional を イストールします。 このフォルダへのインストールは [次へ] ボタンをクリックします。 他のフォルダへインストールする場合は [参照] ボタンをクリックし フォルダを選択します。 AT-TCP/32 Professional をインストールしない場合は [キャンセル] ボタンをクリックし終了します。
	インストール先のフォルダ: C:¥¥AT-TCP32 Professional 参照(® く 戻る(®) [次へ(@)] キャンセル

インストール先の選択

セットアップタイプとして「カスタムインストール」を選択した場合は、ここで次の画面が表示されますので、インストールするコマンドを選択してください。また、「参照」ボタンを押して、インストール先のディレクトリを指定することもできます。



カスタムセットアップ

11. デスクトップへの組み込み方法を指定します。デフォルトでは「サブメニューを作成する」のみ選 択されています。指定したら「次へ」ボタンをクリックしてください。

ヽ このダイアログは、Windows NT 3.51 では表示されません。



デスクトップへの組み込み

12. プログラムフォルダを選択し、「次へ」をクリックします。Windows NT 3.51 の場合は、「プログ ラムフォルダ」を「プログラムグループ」に読み替えてください。



プログラムフォルダの選択

13. 内容を確認し、「次へ」をクリックしてください。



インストール前の確認

14. ファイルのコピーが始まります。

ファ仙をコピー中 c:¥¥at-tcp32	professional¥wftpsrvj.hlp
	30 %
	[キャンセル]

ファイルのコピー中

 コピーが終了すると「インストール完了」ダイアログが表示されます。このダイアログから、 README ファイルを読んだり、アプリケーションの設定を変更したりすることもできます。「完 了」をクリックすると、インストール完了です。



インストール完了

16. 「自動実行ユーティリティ」ダイアログに戻りますので、「終了」をクリックして終了させます。



自動実行ユーティリティの終了

 以上でインストールは完了です。なお、電子メール(ATMail)で「PGP 暗号化機能」を利用した い場合は、別途 PGP プログラムを入手してインストールする必要があります。詳細は15ページの 「4「PGP 国際版 2.6.3i」について」をご覧ください。

第3章

アンインストール

AT-TCP/32をインストール先のハードディスクから削除する場合は、以下の手順にしたがってください。

3.1 Windows 95/98/NT 4.0/2000 をお使いの場合

- 1. Windows 95/98/NT 4.0/2000 を起動します。
 - Windows NT 4.0 または Windows 2000 をご使用の場合は、インストール時と同じユーザー (Administrator 権限)でログオンしてください。
- 2. すべてのアプリケーションを終了させます。
- 3. 「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」をクリックします。
- 4. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
- 5. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログが表示されるので、「CentreNET AT-TCP/32 Professional Version 2.1 pl 0」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックします。
- 6. AT-TCP/32 関係のファイルおよび設定がお使いのシステムから削除されます。

3.2 Windows NT 3.51 をお使いの場合

- 1. Windows NT 3.51 を起動します。
 - N インストール時と同じユーザー(Administrator 権限)でログオンしてください。
- 2. プログラムマネージャ以外のすべてのアプリケーションを終了させます。
- 3. プログラムマネージャの「CentreNET AT-TCP32 Professional」グループの中の「アンインストー ル」アイコンをダブルクリックします。
- 4. AT-TCP/32 関係のファイルおよび設定が Windows NT 3.51 上から削除されます。システムを再 起動することによりアンインストール処理は終了します。

第4章

「PGP 国際版 2.6.3i」について

AT-TCP/32の「電子メール」(ATMail)では、メッセージを暗号化して送信したり、暗号化されたメッ セージを復号化して読んだりするための機能があります。そのためには、「PGP 国際版 2.6.3i」というソ フトウェアが別途必要になります。本パッケージには PGP プログラムは含まれておりませんので、PGP のホームページからダウンロードし、各自インストールしてください。

4.1 PGP のバージョン

1997 年 1 月現在、次に示すバージョンのアーカイブが ATMail との組み合わせで動作することが確認されています。

pgp263i.zip	299KB	AT 互換機用。PC-98 シリーズでは動作しません
pgp263ix.zip	379KB	AT 互換機用。PC-98 シリーズでは動作しません
pgp263i-win32.zip	322KB	Win32 用。PC-98 シリーズでも動作します

ATMail で使用する場合は、pgp263i-win32.zip をおすすめします。

4.2 注意事項

PGPの使用にあたっては、以下の点にご注意ください。

- 「PGP 国際版 2.6.3i」のダウンロード、使用、その他の一切については、個人もしくは各会社、各団体の判断と責任において行ってください。
- 「PGP 国際版 2.6.3i」の商品利用、輸出/輸入、国外への持ち出し/国外からの持ち込み、その他に 関して制限事項等がもうけられておりますので、十分ご調査ご確認の上、自己の判断と責任におい てご利用ください(PGP 国際版のホームページ(http://www.pgpi.org/)または PGP 国際版の ホームページ(日本語版)(http://www05.u-page.so-net.ne.jp/ba2/naoki-s/pgpi/)などをご

参照ください)。

 弊社はこれら「PGP 国際版 2.6.3i」の取り扱いのすべてについて一切の責任を負いかねますのであ らかじめご了承ください。

4.3 ダウンロード

弊社ホームページに「PGP 国際版 2.6.3i」の入手に関する情報を掲載しておりますので、下記の URL を ご利用ください。

http://www.allied-telesis.co.jp/support/faq/pgp.htm

なお、ダウンロードの詳細については、PGP 国際版のホームページをご覧ください。

4.4 インストール

ダウンロードした「PGP 国際版 2.6.3i」は、Zip (PKZip)形式で圧縮されています。これを展開するには、WinZip などのファイル圧縮解凍ユーティリティが必要です。

PGP のインストール自体は、ハードディスク上の適切なディレクトリにアーカイブを展開するだけで完 了します(弊社では、「PGP 国際版 2.6.3i」のインストールに関するご質問は受けかねます。お客様の責 任にて行っていただけますようお願い申し上げます)。

4.5 PGP とは

PGP(Pretty Good Privacy)は、Philip Zimmerman 氏によって開発された公開鍵方式の暗号化プログ ラムです。PGPを使用することによって、電子メールやコンピュータ上に格納されたファイルを暗号化 し、それらのプライバシーを保護することができます。

4.5.1 暗号化と復号化

誰かが情報を抜き取って読もうとしても解読できないように、元の情報(平文といいます)を見た目には
 無秩序な形に置き換えることを「暗号化」といい、置き換えられた文章を「暗号文」といいます。
 暗号文の内容(本来の情報)を読むには、「鍵」を使って平文に戻す必要があります。平文に戻すことを
 「復号化」といいます。

暗号化の目的としては、次のようなものがあげられます。

機密保持

ビジネスの世界をはじめとして、情報の機密性が求められる場面は数多くあります。情報を暗号化

しておけば、たとえ不正アクセスを受けたとしても、情報を解読される恐れが少なくなります。 情報の正確性や保全性の維持

内容の正確さが重要視される情報が改ざんされるのを防ぎます。

信憑性

電子署名や認証は、送信されてきた情報が本物であることを確認するための手段です。

4.5.2 公開鍵方式

PGP は、公開鍵方式といって、公開鍵と秘密鍵の2種類の鍵を使用する方法を採用しています。暗号化 と復号化のためには、この2種類の鍵が必要になります。

これらの鍵は2つで一組になっており、公開鍵は所属しているグループ(たとえば、ある特定のネット ワーク)内で公開され、秘密鍵は各ユーザーが他人に知られないように各自で厳重に保管します。

公開鍵

メッセージを暗号化するときに使用します。誰かに情報を送るときは、相手の公開鍵を使って情報 を暗号化します。これを復号化できるのは公開鍵とペアになっている秘密鍵だけなので、この情報 を読めるのは秘密鍵を持っている送信相手だけとなります。

秘密鍵

メッセージを復号化するときに使用します。誰かに情報を送ってもらうときは、あらかじめ渡して おいた自分の公開鍵で暗号化したものを受け取り、自分の秘密鍵で復号化して読みます。また、電 子署名をするときにも使います。

パスフレーズ

PGP では、秘密鍵を保護するために「パスフレーズ」というパスワードを使用します。秘密鍵を使用するときは、つねにパスフレーズの入力が求められます。

4.5.3 公開鍵と秘密鍵の作成

ATMail で暗号化の機能を使用するには、公開鍵と秘密鍵の作成が必要になります。鍵は ATMail 上で作 成することができますので、DOS プロンプト上で PGP のコマンドを使用して作成する必要はありませ ん。公開鍵と秘密鍵の作成については、AT-TCP/32 User Manual の「電子メール」の章をご覧ください。

付録 A

TCP/IP の基本設定

AT-TCP/32 を使用するには、あらかじめ TCP/IP プロトコルの設定を行っておく必要があります。 ここでは、OS ごとに、LAN 環境における TCP/IP プロトコルの基本的な設定方法について説明します。 なお、ダイヤルアップ IP 接続環境でのみ AT-TCP/32 をご使用になる場合は、以下の設定は必要ありま せん。User Manual の「ダイヤルアップコネクター」の章にしたがって、ダイヤルアップ接続の設定を 行ってください。

A.1 はじめに

TCP/IP の設定を行うには下記の情報が必要です。企業や学校など、組織内のネットワークに接続する場合は、システム管理者にご確認ください。家庭内 LAN の場合は、ユーザー自らが適切な値を決める必要があります。

ここでは、次の情報にもとづいてネットワークの設定を行うものとします。

DHCP サーバー

使用しない。

N DHCP サーバーを使用する場合は、TCP/IP の設定に必要な情報をサーバーから取得して自動設定するため、以下の情報は不要となります。

IP アドレス

192.168.100.126

サブネットマスク

255.255.255.0

以下の情報は必須ではありません。環境によって必要な場合とそうでない場合があります。詳細はシステ ム管理者にご確認ください。 デフォルトゲートウェイ 192.168.100.1 DNS サーバー 192.168.100.10 ホスト名 hiyo ドメイン名 birds.or.jp

> ▶ 上記の情報はあくまでも説明のための例です。実際に設定を行うときは、必ずお客様のネットワーク環境に 合った値を確認して設定してください。詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、TCP/IP の設定を行うには、あらかじめネットワークアダプター(LAN アダプター)のセットアップ(アダプターの 取り付けとドライバーのインストール)が必要です。ネットワークアダプターのセットアップについては、ご 使用のアダプターのマニュアルを参照していただくか、アダプターのメーカーにお問い合わせください。

A.2 Windows 95/98 の場合

ここでは、Windows 98 を例に説明します。Windows 95 では一部画面表示が異なるところがありますが、基本的な手順は同じです。適宜読み替えてください。

- 1. 「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックします。
- 2. 「TCP/IP -> ご使用の LAN アダプタ名」を選択して、「プロパティ」をクリックします。

ネッ トワーク <u>?</u>	x
ネットワークの設定 識別情報 アクセスの制御	
現在のネットワーク コンボーネント(<u>N</u>): 圏 Microsoft ネットワーク クライアント ■ Microsoft ファミリ ログオン ■ Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card ■ ダイヤルアップ アダプタ ■ 赤外線、PnP シリアル ボート (*PNP0510)	
Y ICP/IP → Allied Telesis LATUU-PCM V2 LAN Card J自加(A) 肖別除(E) プロバティ(R)	
- 1	
Microsoft ネットワーク クライアント	
ファイルとプリンタの共有(E)	
ー説明 TOP/IP は、インターネットや WAN への接続に使用するプロトコルです。	
OK キャンセル	

▼「ネットワークアダプタ」が1つしか登録されていないときは、「TCP/IP -> ご使用の LAN アダプ タ名」の代わりに「TCP/IP」を選択してください。 ▼「TCP/IP -> ご使用の LAN アダプタ名」または「TCP/IP」が表示されていない場合は、TCP/IP プロトコルスタックがインストールされていません。その場合は、「追加」ボタン 「プロトコル」 「追加」ボタンと進み、「製造元」から「Microsoft」を、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選択して「OK」をクリックし、TCP/IP をインストールしてください。

- 3. TCP/IP パラメーターの設定を行います。
 - (a) IP アドレスを自動設定する場合(DHCP を使う)

お客様の環境で DHCP サーバーが運用されている場合、「IP アドレスを自動的に取得」を選

択し、「OK」	をクリ	ーック	して	ください。

バインド】詳細設定 NetBIO IP アドレスは DHCP サーバ れます。ネットワークが自動 ーク管理者がアドレスを割り い。	S DNS 設定 ゲートウェイ WINS 設定 IP アドレス ーによって自動的にこのコンピュータに書り当てら 内に IP アドレスを書り当てない場合は、ネットワ 当てます。この場合はアドレスを入力してくださ
 ・ ・ ・	E取得(<u>0</u>))
サブネット マスク(山):	
	ОК N +++>+tu

DHCP を使う場合

(b) IP アドレスを手動で設定する場合(DHCPを使わない)

DHCP サーバーを使用しない場合は、「IP アドレスを指定」を選択し、「IP アドレス」と「サ

ブネットマスク」の値を入力します。

TCP/IPのプロパティ ?
バインド】詳細設定 NetBIOS DNS 設定 ゲートウェイ WINS 設定 IP アドレス
IP アドレスは DHCP サーバーによって自動的にこのコンピュータに割り当てら れます。ネットワークが自動的に IP アドレスを割り当てない場合は、ネットワ ーク管理者がアドレスを割り当てます。この場合はアドレスを入力してくださ い。
○ IP アドレスを自動的に取得(Q)
● IP アドレスを指定(S)
IP アドレスゆ: 192.168.100.126
サブネットマスク(1): 255.255.255.0
OK キャンセル

IP アドレスとサブネットマスクの設定

さらに、必要に応じて「ゲートウェイ」、「DNS」等の設定を行います。設定が終わったら「OK」 をクリックしてください。 「ゲートウェイ」タブでは、「新しいゲートウェイ」にデフォルトゲートウェイの IP アドレス

を入力し、「追	加」をクリ	ノック	します。
---------	-------	-----	------

TCP/IPのプロパティ	? ×
バインド】詳細設定】NetBIOS】DNS 設定 ゲートウェイ WINS 設定】IP アドレ	찌
一覧の最初のゲートウェイがデフォルト ゲートウェイになります。 リストボックス のアドレス順がコンピュータが使うアドレス順になります。	
新しいゲードウェイ(W): [192.168.100.1] [通知(A)]	
「インストールされているゲートウェイダー	
OK **)	セル

ゲートウェイの追加

「DNS 設定」タブでは、「DNS を使う」選択し、「DNS サーバーの検索順」に DNS サーバーの IP アドレスを入力し、「追加」をクリックします。必要に応じて「ホスト名」、「ドメイン」、「ドメインサフィックスの検索順」も入力します。

TCP/IPのプロパティ	? ×
バインド】詳細設定 NetBIOS DNS 設定 ゲートウェイ WINS 設定 IP アドレス C DNS を使わない の]
● DNS を使う(E)	1
ホスト(H): hiyo ドメイン(Q): birds.or.jp	
DNS サーバーの検索順	
192.168.100.10 道加(A)	
ドメイン サフィックスの検索順	
削除金(<u>M</u>)	
	-
OKキャンセ	μ

DNS サーバーの追加

4. 「OK」をクリックします。

አቃ ኑ ፓ– ታ	? ×
ネットワークの設定 識別情報 アクセスの制御	
現在のネットワーク コンボーネント(N):	
■ Microsoft ネットワーク クライアント	
📇 Microsoft ファミリ ログオン	
Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card	
■夏タイヤルアッフ アタフタ ■夏 古村 約 月 月 2 川マル 一般 一上 (*121/120510)	
■愛赤外線 PNP シリアル ホート (*PNP0510) SETCD (四、 \ Allied Televie A100, DOM \ 2 AN Oracl	
TOP/IP -> Allied Telesis LATOU-POM V2 LAN Card	
追加(A) 削除(E) プロパティ(B)	
	_
Microsoft ネットワーク クライアント	•
ファイルとプリンタの共有(F)	_
□=	
	-
OK 1 ++>	セル

5. 「はい」をクリックして、コンピュータを再起動します。設定内容は再起動後から有効になります。



A.3 Windows 2000 の場合

1. 「Administrator」権限でログオンしてください。

Windows ヘログオン	Microsoft Windows 2000 Professional Built on NT Technology
ユーザー名(型): パスワード(<u>P</u>):	Administrator
	OK キャンセル シャットダウン⑤… オプション⑥ <

Administrator 権限でログオン

 スタート」「設定」「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダ ブルクリックします。



コントロールパネル

3. 使用する LAN アダプタの「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をク リックします。



4. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

」ーカル エリア接続 2のプロパティ ?>
全般
接続の方法:
Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card
構成(2) チェック マークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています(2):
 ☑ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント ☑ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有 ☑ ▼ インターネット ブロトコル (TCP/IP)
インストールФ ガリ 説明 伝送制御フロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。
□ 接続時にタスク バーにアイコンを表示する (₩)
OK キャンセル

- 5. TCP/IP パラメーターの設定を行います。
 - (a) IP アドレスを自動設定する場合(DHCPを使う)
 お客様の環境でDHCPサーバーが運用されている場合、「IP アドレスを自動的に取得する」と
 「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」がチェックされていること(デフォルト)を
 確認し、「OK」をクリックします。

ンターネット フロトコル(TCP/IP)のフ 全般	21/77
ネットワークでこの機能がサポートされて(きます。サポートされていない場合は、ネ てください。	いる場合は、IP 設定を自動的に取得することがで ットワーク管理者に通切な IP 設定を問い合わせ
⊙ IP アドレスを自動的に取得する(<u>)</u>)
○ 次の IP アドレスを使う(S):	
IP アドレスΦ	
サブネット マスク(山):	
デフォルト ゲートウェイ(D):	
 DNS サーバーのアドレスを自動的 次の DNS サーバーのアドレスを位 優先 DNS サーバー(P): 代替 DNS サーバー(A):)に取得する(B) 使う(E):
178 pilo 3 71 - Gr	
	OK ++>>セル

(b) IP アドレスを手動で設定する場合(DHCPを使わない)

DHCP サーバーを使用しない場合は、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「優先 DNS サーバー」、「代替 DNS サーバー」の値を入力して「OK」をクリックします。

○ IP アドレスを自動的に取得す	する(0)					
-⊙ 次の IP アドレスを使う(S):						
IP アドレスΦ:	I	192	168	100	126]
サブネット マスク(山):	I	255	255	255	0]
デフォルト ゲートウェイ(型):	I	192	168	100	1]
○ DNS サーバーのアドレスを自	動的に取得	する(B)				
-④ 次の DNS サーバーのアドレ	スを使う(<u>E</u>):					
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):	I	192	168	100	10]
代替 DNS サーバー(A):	1					1

DHCP を使わない場合

6. 「OK」をクリックしてください。これで TCP/IP の設定は完了です。

ローカル エリア接続 2のブロパティ ? 🛛
全般
接続の方法
Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card
構成①
チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています(型):
 ☑ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント ☑ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有 ☑ ▼ インターネット プロトコル (TCP/IP)
インストールФ ド約月
- またり 伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。
□ 接続時にタスク バーにアイコンを表示する 🖤
OK **>セル

A.4 Windows NT 4.0 の場合

Windows NT 4.0 の場合、LAN アダプターのドライバーインストール時にネットワークの設定が行える ようになっています。ここでは、ドライバーのインストール後に TCP/IP の設定を行う、あるいは、設定 を変更する場合の手順について説明します。

- 1. 「Administrator」権限でログオンしてください。
- 2. 「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックします。



コントロールパネル

3. 「プロトコル」タブの「TCP/IP プロトコル」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

גאריין אריין א אריין אריין אריי
識別 サービス プロトコル アタラウタ バインド
ネットワーク フ ロトコル(N):
<u>а торир 7 ри</u> .
道加(A)
ОК + +утел

- 4. TCP/IP パラメーターの設定を行います。
 - (a) IP アドレスを自動設定する場合(DHCP を使う)

お客様の環境で DHCP サーバーが運用されている場合、「DHCP サーバーから IP アドレスを 取得する」を選択し、「OK」をクリックします。_____

IP ፖሶኒ	バーロNS WINS アドレス ルーティング
DHC に割 ネット てく力	P サーバーから IP アドレスを取得し、 このネットワーク アダフタ カート፣こ自動 リ当てることができます。ネットワークに DHCP サーハーがない 場合は、 フーク管理者にアドルスを問い合わせて、 そのアドルスを下のボックスに入ナ ごさい。
לע? [1]	፝% <u>P</u>): Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card
6	
- 0	/ <u>DFIOLE / / / W-STE / F V Zekits / SOU</u> /) IP 7ドル7を指定する(S)
1	· 71 0/24
1	リフ ネット マスク(山):
	iフォルト ケートウェイ(G):
8	
Ĺ	
	[詳細·[D]
	[詳細(D)

DHCP を使う場合

(b) IP アドレスを手動で設定する場合(DHCP を使わない)

DHCP サーバーを使用しない場合は、各タブで必要な情報を入力し、「OK」をクリックします。 「IP アドレス」タブでは、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」 の値を入力します。

Microsoft TCP/IPのプロバティ ? ×
IP アドレス DNS WINS アドレス ルーティング
DHCP サーバーから IP アドレスを取得し、 このネットワーク アダフタ カード1 こ自動的 I こ割り当てることができます。 ネットワーカこ DHCP サーバーがない 場合は、 ネットワープ管理者にアドレスを問い 合わせて、 そのアドレスを下のボックスに入力し てください。
7ጵጎ 'ጷ(<u>P</u>):
[1] Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LAN Card
○ DHCP サーバーから IP アトルスを取得する(@)
○ IP アドレスを指定する(S)
IP 7ト℃ス型: 192 168 100 126
サブネット マスク(<u>U</u>): 255 255 0
テウォルト ケートウェイ(Q): 192 168 100 1
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

IP アドレスの設定

「DNS」タブでは、「DNS サービスの検索順序」の「追加」をクリックして、DNS サーバーの IP アドレスを追加します。必要に応じて「ホスト名」、「ドメイン」、「ドメインサフィック スの検索順序」も入力します。

erosoft TCP/IPのプロルティ IP アドレス DNS WINS アドレフ	ス】ルーティンク]	
ドメイン ネーム システム (DNS)		131.6	
ホスト名(<u>H</u>): hiyo		NMUQ): birds.or.jp	
DNS サービスの検索順序(<u>S</u>)			-
192.166.1.10			<u>L</u> ∧@↑
	±(c)	岩田金への	
		HIPACU	
birds.or.jp	<u> </u>		►(P)↑
			<u>⊤~</u> @+
追加 編調	集(I)	削除(<u>M</u>)	
		-	
	ок	キャンセル	適用(<u>A</u>

DNS の設定

5. 「OK」をクリックしてください。これで TCP/IP の設定は完了です。

ネットワ−り ? ×
識別 サービス フロトコル アタウッタ バイント・
ネットワーク フプロトコル(№):
រិត្ត TCP/IP រឺជ្រងរ្ហ
追加(4) 削除(8) プロバティ(2) 更新(1)
「説明
伝送制御ブロトコル/イフターネット ブロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイドエリア ネットワーク ブロトコルです。
OK ++>\U

A.5 Windows NT 3.51 の場合

WIndows NT 3.51 の場合、LAN アダプターのドライバーインストール時にネットワークの設定を行え るようになっています。ここでは、ドライバーのインストール後に TCP/IP の設定を行う、あるいは、設 定を変更する場合の手順について説明します。

- 1. 「Administrator」権限でログオンしてください。
- 2. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックします。



コントロールパネル

3. 「組み込まれているネットワークソフトウェア」の「TCP/IP プロトコル」を選択し、「構成」をク リックします。

🚽 ネットワークの設定						
「ネットワ-ク ソフトウェアとアダ [*] プタ カ-ド [*] 組み込まれているネットワ-ク ソフトウェア(W): Allied Telesis CentreCOM LA100-P ↓ NetBIOS 129-7ェイス RPC 構成 TCP/IP プロトフル コンピュ-タ ブ [*] ラウサ [*] 組み込まれているアダ [*] プタ カ-ト [*] (<u>A</u>): [1] Allied Telesis CentreCOM LA100 更新(U) 」	OK 終了 パ ^ッ インド"(<u>B</u>) ネットワーク(<u>N</u>) ヘルプ°(<u>H</u>)					
説明(<u>T</u>): TCP/IP プロトコル ドライバ						

ネットワークの設定

- 4. TCP/IP パラメーターの設定を行います。
 - (a) IP アドレスを自動設定する場合(DHCPを使う)

お客様の環境で DHCP サーバーが運用されている場合、「DHCP 自動構成を有効にする」を

選択し、「OK」	をクリックします。
	<u>ー</u> TCP/IP の構成
	アダブダ(Δ): [1] Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 L4 □ DHCP 自動構成を有効にする(E) □ アドレス(D): ・ ・ </th
	このダイアログ ボックスの TCP/IP ネットワークの構成を反映するには、[OK]をクリックしてく ださい。

DHCP を使う場合

(b) IP アドレスを手動で設定する場合(DHCPを使わない)

DHCP サーバーを使用しない場合は、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値を手動で入力します。

アダプタ(A): [1] Allied Telesis CentreCOM LA100-PCM V2 LA ま DHCP 自動構成を有効にする(E)
サブネットマスク(山): 255 .255 .0 詳細(い) デフォルト ゲートウェイ(血): 192 .168 .100 .1 小パ (山) ブライマリ WINS サーバー(血):

IP アドレスの設定

次に「DNS」ボタンをクリックし、DNSの設定を行います。「ドメインネームサービス(DNS) の検索順序」の左側のテキストボックスに DNS サーバーの IP アドレスを入力し、「追加」を クリックして、DNS サーバーの IP アドレスを追加します。必要に応じて「ホスト名」、「ドメ イン名」、「ドメインサフィックスの検索順序」も入力します。設定が終わったら「OK」をク リックします。

⇒ DNS の構成
ホスト名(N): hiyo ドメイン名(D): birds.or.jp
「ドメイン ネーム サービス (DNS) の検索順序(<u>S</u>)
(注前加(A) -> birds.or.jp 1 (←前除(R)
OK キャンセル ヘルフ ^ペ 出)
このダイアログ ボックスの DNS ネットワークの 構成を反映するには、[OK]をクリック します。

DNS の設定

5. 「終了」をクリックしてください。

- ネットワークの設定						
コンピュータ名:	HIYO		変更(<u>6</u>)			
ワークグルーフ°:	BIRDS		変更(<u>E</u>)			
「ネットワーク ソフトウェア と アダ ^ッ プタ カート ^ッ ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー						
Allied Telesis NetBIOS インタ RPC 構成 TCP/IP プロトコ コンピュータ フ [*] ラ	CentreCOM P-วิเาิ ปี	A100-P•	ソフトウェアの追加(<u>S</u>) アダ [、] プタカート [、] の追加(<u>P</u>) 構成(C)	OK 終了		
組み込まれて [1] Allied Tele	こいるアダンプタナ esis CentreCC	-۴»(<u>A</u>): M LA100-		ネットワーク(<u>N</u>)		
=¥88(7) (7)		- /11%	肖邶余(<u>R</u>)	<u>∧ルプ(H</u>)		
	א עראסת אוא איי	711)"				

6. 「再起動する」をクリックしてコンピュータを再起動します。設定内容は再起動後から有効になり ます。



A.6 hosts ファイル

hosts ファイルは、ネットワーク上に存在するホストの IP アドレスとホスト名の対応を記したファイルで す。小規模なネットワークなどで DNS を必要としない(使用していない)場合は、所定のディレクトリ に hosts ファイルを作成しておくことにより、TCP/IP アプリケーションでターゲットのホスト名指定が 可能となります。また、DNS を使用している場合でも、頻繁にアクセスするホストの情報を hosts ファ イルに記載しておくことで、DNS へのアクセスを減らすことができます。

hosts ファイルの書式は次のとおりです。IP アドレスとホスト名(およびホストの別名)を空白文字(スペースまたはタブ)で区切って記述します。シャープ「#」以降、行末まではコメントとなります。

IP アドレス ホスト名 ホストの別名

次に hosts ファイルの例を示します。

```
#
# sample hosts file
#
192.168.1.1 sparrow.xxxx.co.jp sparrow
192.168.1.2 starling.xxxx.co.jp starling
192.168.1.3 pigeon.xxxx.co.jp pigeon
192.168.1.4 bulbul.xxxx.co.jp bulbul
192.168.1.5 thrush.xxxx.co.jp thrush
192.168.1.6 magpie.xxxx.co.jp magpie
192.168.1.7 whiteeye.xxxx.co.jp whiteeye
...
...
```

hosts ファイルは、Windows 95/98 では Windows がインストールされているディレクトリ(通常 C:¥windows)に、Windows NT および 2000 では、Windows がインストールされているディレクト リの下の system32¥drivers¥etc に置きます。